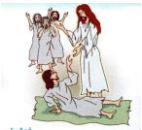
第 18 回　キリスト教の歴史

1　ユダヤ教とイエス

・（　　）から解放されたユダヤ人（ヘブライ人）は、イェルサレムに神殿を再建し、（　　）させた。
→しかしユダヤ教は、選民思想や律法を厳しく守ることを主張するパリサイ派などによって、しだいに排他的な宗教になっていった。

誕生　ベツレヘムの馬小屋で母マリアから生まれたとされる。

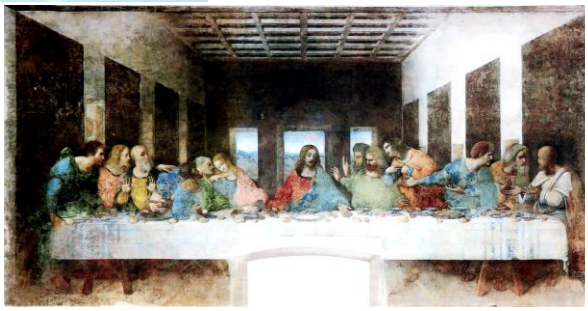
・前 63 年、ユダヤ人の王朝であるハスモン朝がローマのポンペイウスによって滅ぼされたため、パレスチナはローマの支配下に入った。
→人々は、ローマの支配から解放してくれる救世主を待ち望んだ。


布教（ふきょう）　弟子たちと旅をし，病人を治すなど奇跡を行ったとされる。

・前４年ころ、パレスチナのナザレ出身の（　　）は、（　　）がすべての人におよぶこと、（　　）によってすべての人を愛すことを説き、選民思想と律法主義を批判した。
→社会的な弱者や病人など、差別された人びとの心をとらえていった。

ゴルゴダの丘　自ら運んだ十字架にかけられる。

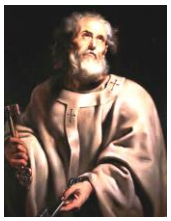
・イエスの弟子や支持者は、イエスを（　　）とみなすようになった。
※救世主をギリシア語で（　　）という。
→ユダヤ人の支配層はイエスを危険視し、捕えて総督のピラトに渡した。
→（　　）はイエスを（　　）にかけて処刑した（30 年ころ）。


壁画なので、本物を見るにはミラノに行くしかない。中央がイエス。
さらにこちらから見て左にヨハネ、さらにペテロといった使徒が続き、その隣りがあのユダである。右手には銀貨の入った袋が握られている。

映画『パッション』
イエスがどのように処刑されたかを知るには、この映画が一番。ただし強烈な映像が続くので、心臓の弱い人は見ないように。

2　キリスト教の成立

・その後、（　　）と呼ばれる弟子たちやイエスの支持者の間で、処刑されたはずのイエスが復活したという信仰が生まれる。


ペテロ
イエスの直弟子を使徒という。
ペテロは、人間味があって、私が一番好きな使徒です。

死の３日後　イエス「復活」。イエスは救世主（キリスト）となる。

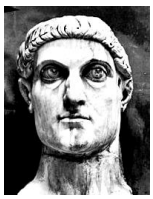
・イエスの弟子で初代ローマ教皇とされる（　　）や、イエスの死後にユダヤ教から改宗した（　　）が中心となって布教した。
→初期は社会的弱者を中心とし、徐々にローマ帝国全土に拡大した。
・キリスト教の経典はユダヤ教の経典でもある『　　』と、４つの『福音書』、『使徒行伝』からなる『　　』である。

3　ローマ帝国による迫害と公認

・キリスト教徒は、ローマの祭祀や皇帝崇拝を拒否していたためローマ帝国からしばしば迫害されたが、地下墓所である（　　）を礼拝所として利用するなど、各地に教会を作っていった。

ネロ
キリスト教徒迫害の最初の記録である。

◆（　　）（在位 54～68 年）
・64 年、ローマで大火事が起きた時、キリスト教徒に罪を着せて迫害した。
◆（　　）（在位 284～305 年）
・自分を神に等しい存在とし、皇帝権力の絶対化をはかった。
　→皇帝崇拝を行わないキリスト教徒に対して大迫害を行った。



コンスタンティヌス

◆（　　）（在位 306～337 年）
・逆にキリスト教の神によって皇帝の権力を高めようと考えた。
　→313 年、（　　）を出してキリスト教を公認した。

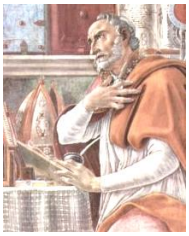
4　公会議と教義の統一

・325 年、キリスト教の教義を統一するため（　　）が開かれた。
　→神とイエスは本質的に同じと主張する（　　）…（　　）
　　イエスは人間であると主張する（　　）…（　　）
　→アリウス派は、ローマの北方にいた（　　）に布教を行っていった。

テオドシウス
最後のローマ皇帝である。

◆（　　）（在位 361～363 年）
・ミトラ教を復活させようとし、「背教者」と呼ばれた。
◆（　　）（在位 379～395 年）
・（　　）し、他の宗教を信じることを禁止とした。

・ローマ帝国分裂後の 431 年、（　　）が開かれた。
　→イエスの人性と神性を分離する（　　）が異端となった。
　→ササン朝を経て、唐代に中国へ伝わり（　　）と呼ばれた。
・451 年、カルケドン公会議で（　　）が異端となった。
　→シリア教会、アルメニア教会、コプト教会に広まった。
・アタナシウス派の教義は「　　」として確立されていった。



アウグスティヌス
北アフリカで活動。もともとは、マニ教を信奉していた。キリスト教に最も影響力を与えた思想家らしい。

＜教父の活躍＞
・４世紀初めのコンスタンティヌスの時代、教会史家のエウセビオスは『教会史』で皇帝位は神の恩寵によって与えられると説き、近世の王権神授説の根拠とされた。
・５世紀、（　　）は、『　　』や『　　』などの著作を残し、キリスト教の教義の確立に大きく貢献して最大の教父とされた。